

令和3年 11月 8日

東京都知事 小池 百合子 殿

一般社団法人  
東京都下水道工事專業者協会  
会 長 武井 久雄

## 要望書

平素より当協会の運営にあたりましては、格別のご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

また昨今の新型コロナウイルス対策において迅速かつ的確なご対応、苦境にある中小企業に対する諸対策等、改めて感謝申し上げます。

当協会は、1970年3月の設立以来、長期にわたり下水道工事並びに作業の專業者として、技術の開発、技能の研鑽に努め、下水道局の実施する都民サービスの維持向上に寄与すべく活動を続けてまいりました。

2009年には一般社団法人化し都民の下水道事業へのご理解とご協力を得るため、下水道局との協力体制のもと、下水道PRへの様々な取組を始めとし、より積極的に具体的な活動を行っております。

数年にわたり工事・作業現場近隣への「PR紙裏面活用」、現場で撮影した写真掲載の「カレンダー配布」、下水道展他「イベントへの協力」を行ってきました。また下水道の役割、大切さと工事・作業の必要性、重要性を伝える小学校等への「出前授業」も引き続き開催してまいりました。今後も、継続して下水道PRの活動を行っていきたいと考えております。

一方、都民に対する責務である下水道事業の誠実な遂行と品質確保を命題に、こうした不  
断の活動を維持充実させる為には、中小事業者の抱える諸課題、特に現状の技術者・労働者  
不足、働き方改革への対応、ウィズコロナ・ポストコロナ対策等、経営を脅かす深刻な状況  
の改善を図らなければなりません。

つきましては、協会員一同、さらなる経営努力を重ねることは当然のことではありますが引  
き続き良好な都民サービスの提供が継続できますよう、別紙事項につきまして、特段のご高  
配を頂きますようお願い申し上げます。

## 1 下水道維持管理に係る予算及び発注量の確保について

下水道は都民の快適な生活を支える都市インフラであり、下水道施設に不具合が発生した場合には、都民が不利益を被ることになるため、下水道施設の維持管理は必要不可欠です。

一方、新型コロナウイルス感染症による経済の大混迷のなか、会員からは来年度の工事量に対する不安の声も多数上がっております。

コロナ禍の影響を受けることの無いようにしていただくとともに、引き続き維持管理に係る予算および発注量を確保していただきますよう要望いたします。

## 2 作業の効率化・電子化の推進について

昨今のコロナ禍においても建設業の人手不足・担い手不足は解消されず、現場担当者の負担は増すばかりです。

東京都におかれましてもハンコレスや書類削減・簡素化を進めて頂いているところではございますが、働き方改革の推進や現下のコロナ禍対策として作業の効率化、簡略化を実現進めるためのデジタル化は必須と思われ、試行中の情報共有システムの積極的な拡大や打合せ等のメール等活用、またそれに伴い更なる提出書類の削減・簡素化の取組を推進していただくよう要望します。

## 3 持続可能な建設業の働き方改革について

2024年4月より罰則付き時間外労働の上限規制が中小建設業にも適用されますが、大都市東京の路上工事である下水道工事においては常設作業帯の設置が困難であることから、作業時間に影響を及ぼす恐れがあり、長時間労働の解消には企業努力の範疇を大きく超えるものと懸念されております。

工事積算における施工代価の標準時間や日当たり施工量の見直し等、改正労働基準法に沿った設計単価の見直しを推進していただき、都内建設業のより円滑な持続のためご高配いただきますよう要望します。